

## リュツォ・ホルム湾及び昭和基地付近の海氷状況について

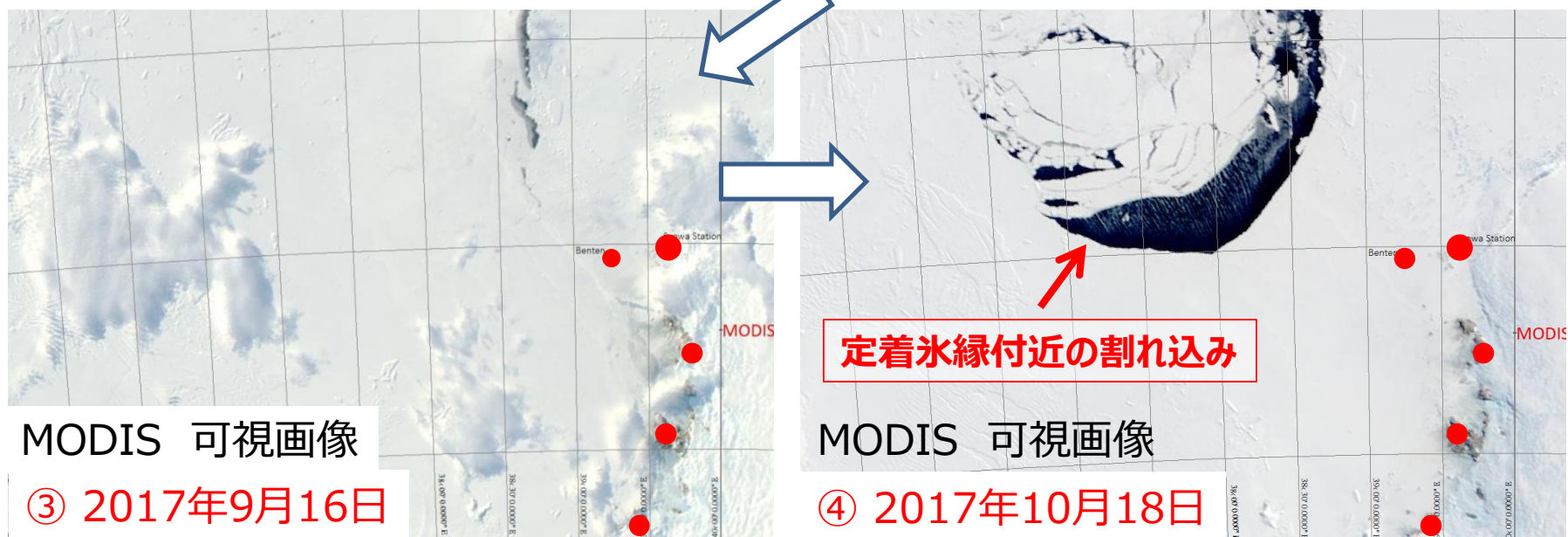
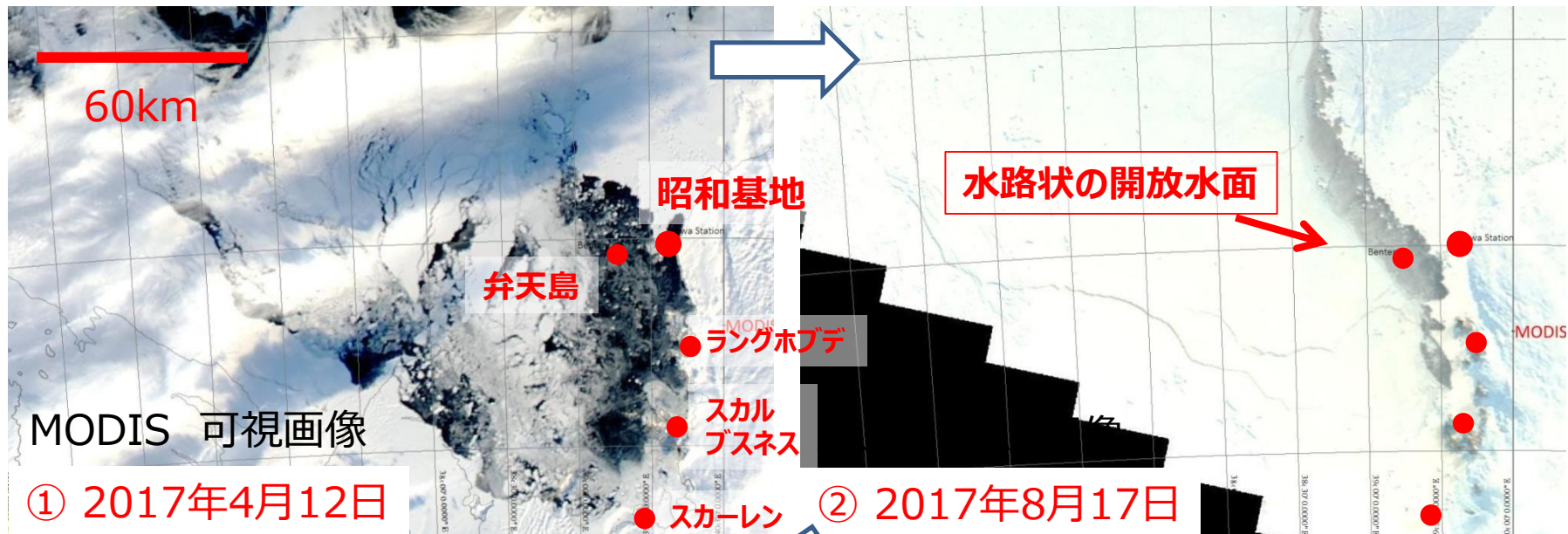
国立極地研究所・南極観測センター

第58次越冬隊及び国立極地研究所は、越冬期間中の野外活動計画や第59次隊の輸送関連計画の参考情報とするため、衛星画像データ、昭和基地における目視・空撮画像、そして気象データなどを用いた海氷状況の監視を行っている。

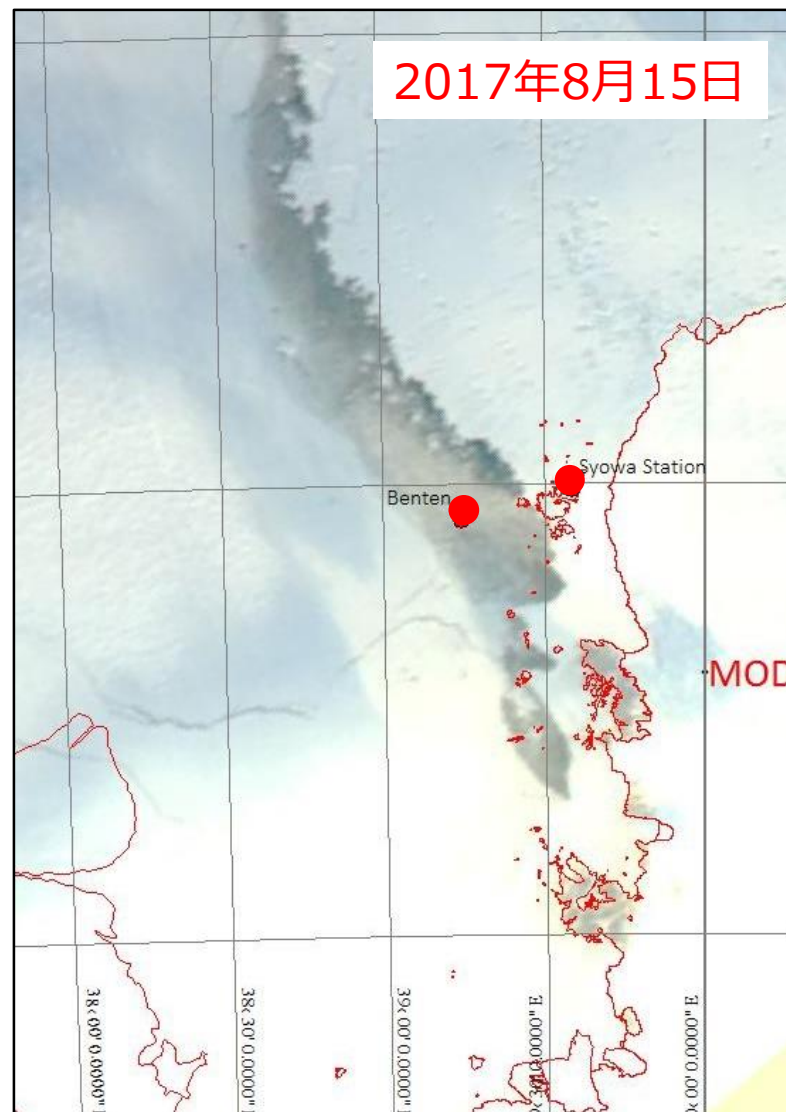
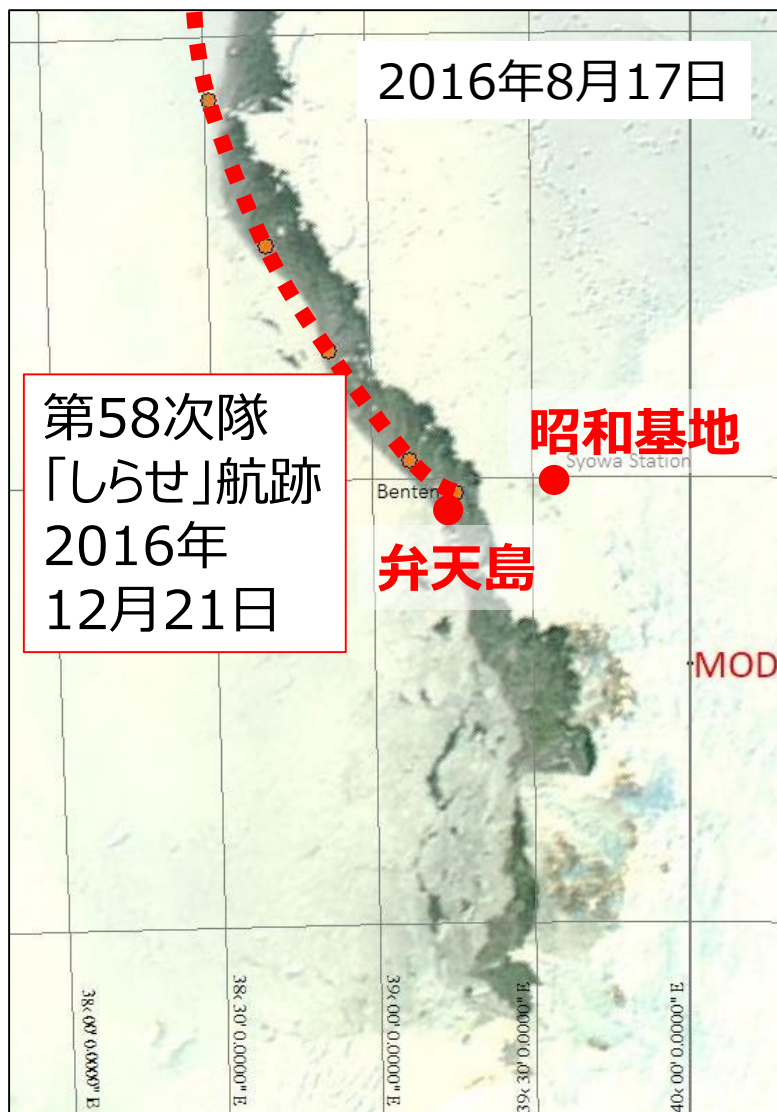
### 2017年7月～10月上旬の状況

- **2017年7月以降、2016年8月中旬とほぼ同じ領域にリード（水路状の開放水面）が形成された。**当該リードは、8月下旬以降は大半が結氷して、再度開放水面とはなっていない。
- 9月以降、リュツォ・ホルム湾の**定着氷縁付近で割れ込みが発生**している。
- 2017年8月中旬における調査では、第58次隊「しらせ」接岸点付近の氷厚は85～90cmであった。この領域は 2017年6月初頭から結氷を開始した一年氷と考えられる。**9月下旬の再調査では、87～94cm**と若干厚みは増したものの、今後、平年値で気温が推移した場合、**氷厚の増加は最大10cm**と見積もられる。

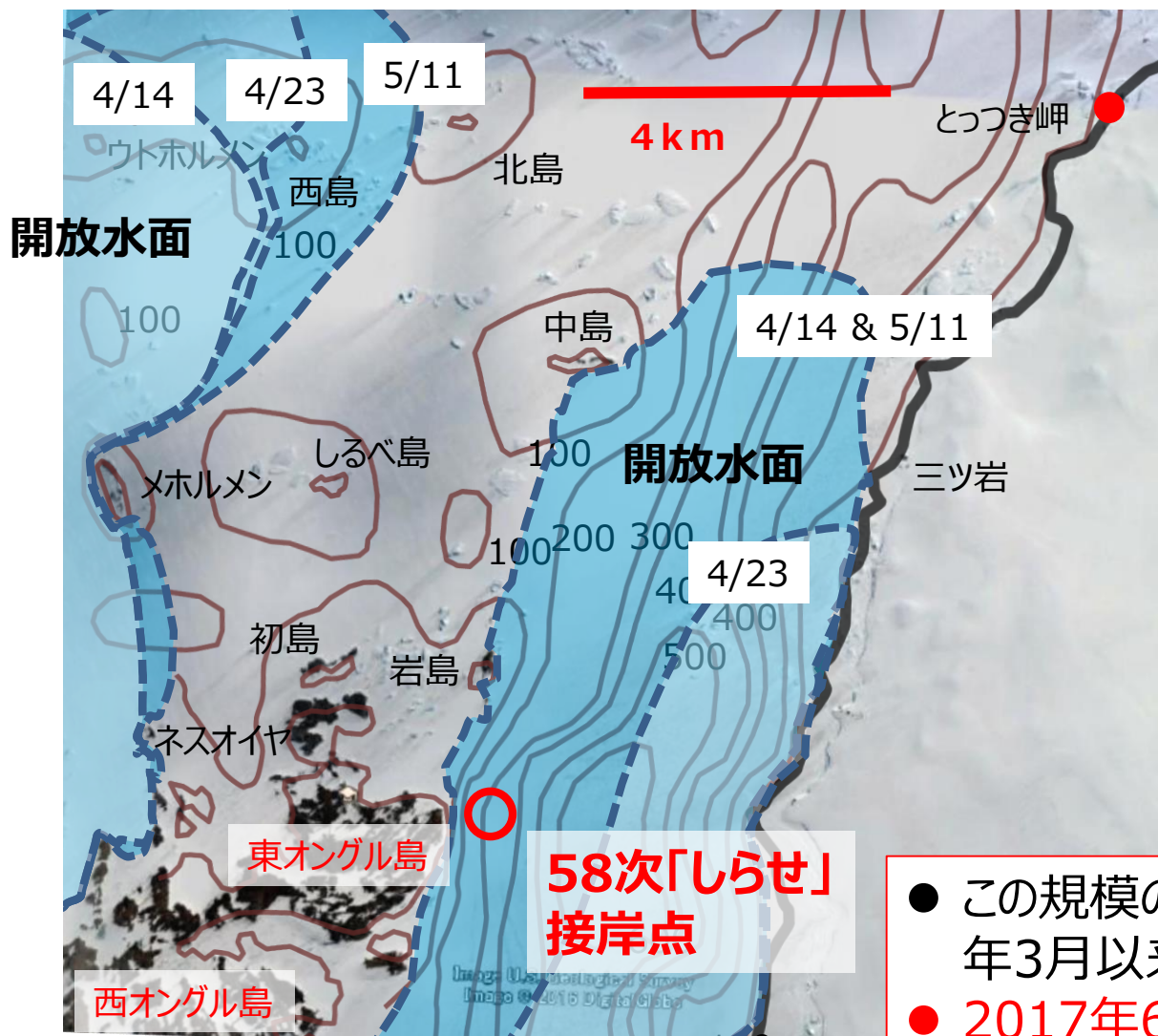
# リュツォ・ホルム湾広域衛星画像



# 2016年及び2017年のリード（水路状の開放水面）の比較



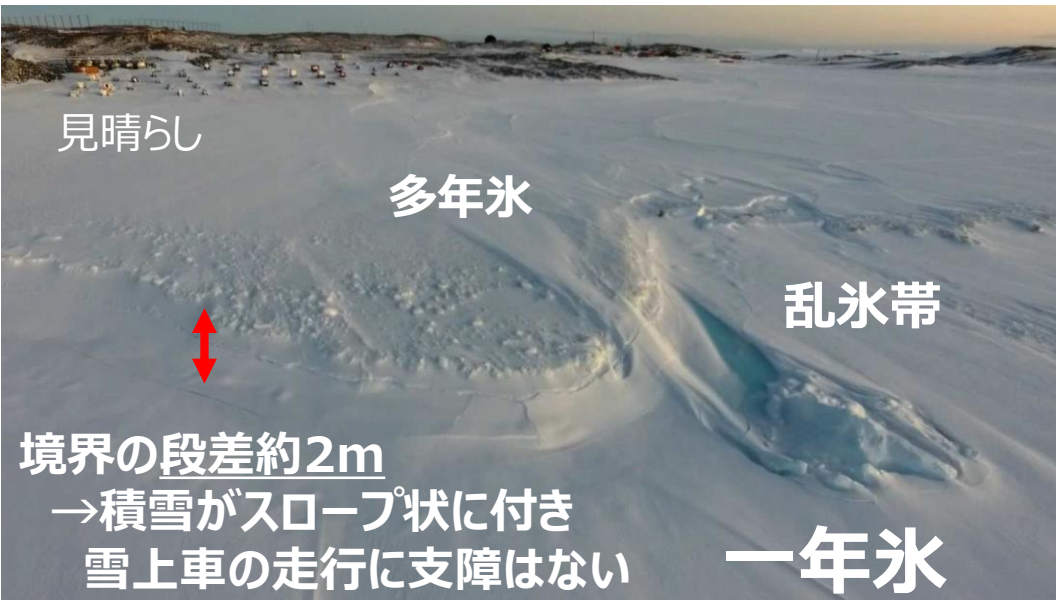
# オングル海峡の開放水面の拡大



- この規模の開放水面の拡大は2004年3月以来（第45次隊）
- 2017年6月以降、オングル海峡の海氷状況に変化はない。

第58次越冬隊提供資料

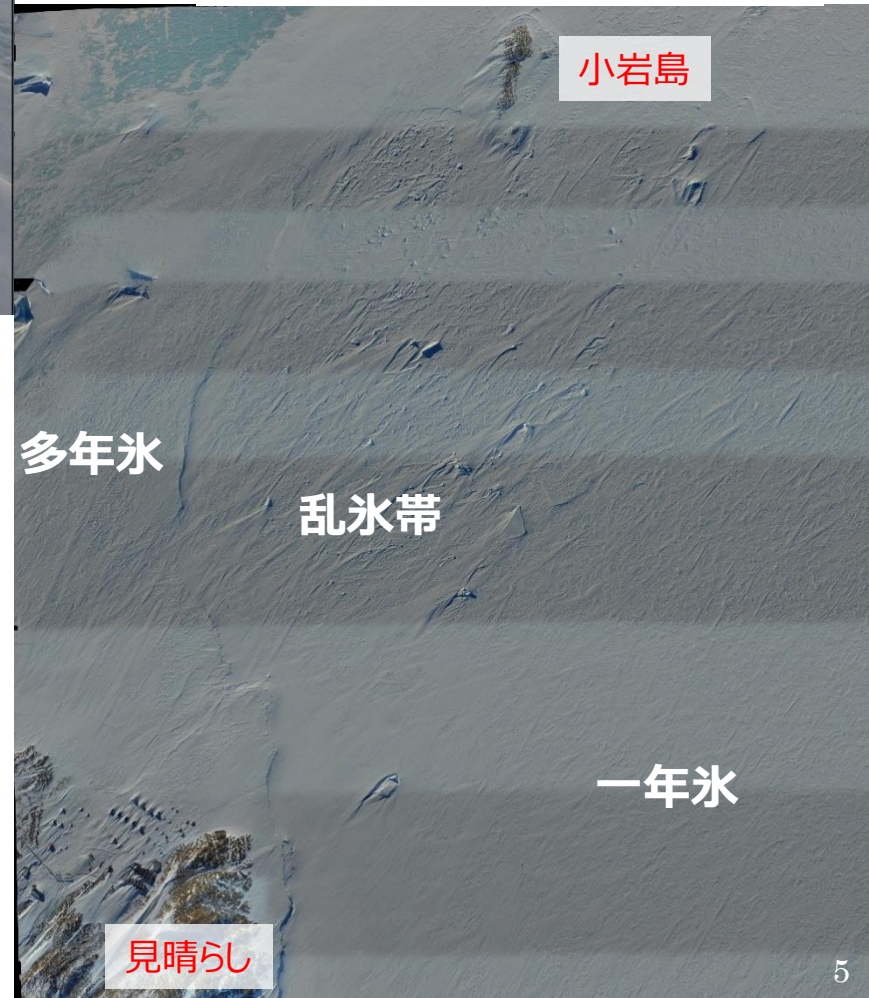
# 「しらせ」接岸点周辺の海氷状況



2017年7月7日空撮画像  
(第58次越冬隊提供)

- 今後、気温が平年値で推移した場合、12月下旬における**オングル海峡の一年氷の氷厚は、最大でも100cm**と推定される。
- **積雪が増えたり、気温が平年より高めの場合**には氷厚はさらに薄くなる。

2017年9月25日空撮画像  
(第58次越冬隊提供)

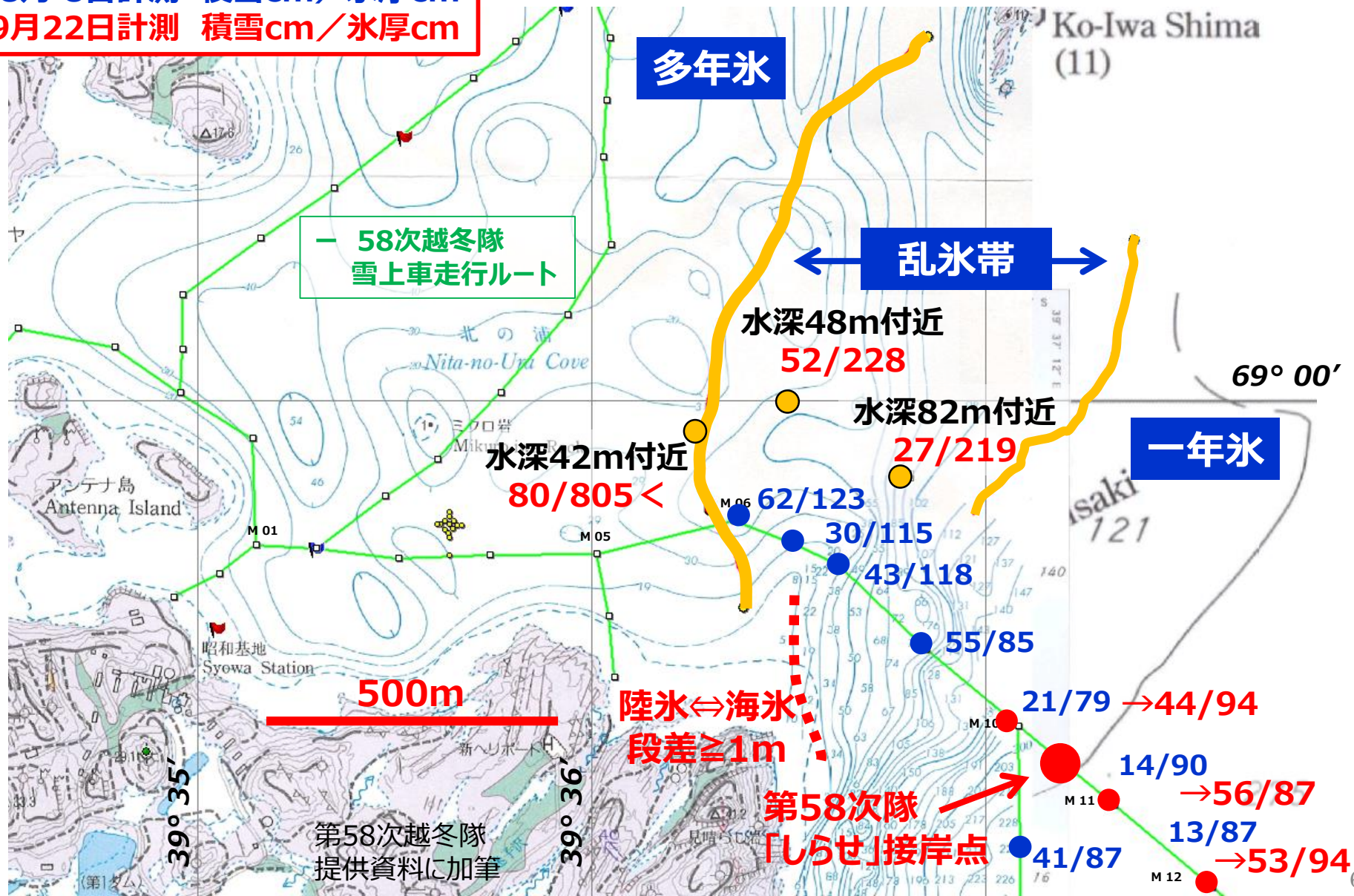


# 「しらせ」接岸点周辺の海水状況

2017年

8月8日計測 積雪cm/氷厚cm

9月22日計測 積雪cm/氷厚cm



# 第45次隊における「しらせ」接岸点周辺の海水状況

## 第45次南極地域観測協力実施報告書

2003年12月21日

接岸点：S69° 00.1' E39° 36.3'

氷厚： 0.9m

## 第45次南極地域観測隊報告

氷厚： 左舷109cm 右舷138cm

※31日、左舷後部～艦尾の海水が流出

●12月21日～23日 貨油パイプ輸送

●12月21日～29日 夜間氷上輸送

SM100S, D41ブルドーザー,

PC70パワーショベル, 100KL金属タンク他

●1月2日 NHK物資持ち帰り氷上輸送

..... 第44次越冬隊設定氷上輸送ルート

● 2003年12月4日計測 積雪深/氷厚

第44次越冬隊が提案  
した「しらせ」接岸点

2003年4月21日の氷縁  
(第44次越冬期)

多年氷  
第44次越冬期

一年氷  
第44次越冬期

69° 00'

アンテナ島  
Antenna Island

昭和基地  
Syowa Station

500m

39° 35'

第58次越冬隊  
提供資料に加筆

39° 36'

第58次隊  
「しらせ」接岸点

第45次隊  
「しらせ」接岸点

Isaki  
121

275

M 12

# 第45次隊における「しらせ」接岸点周辺の海水状況

2003年12月

